

Chapter 6. 昇降機の入力

1. 輸送能力係数の算出方法

輸送能力係数 M [-] は、次式により求まる。

$$M = \frac{C_{std}}{C_{design}} \quad (6.1.1)$$

ここで、

C_{std} : 標準輸送能力
 C_{design} : 計画輸送能力

1) 標準輸送能力 C_{std} の定め方

標準輸送能力 C_{std} の定め方は次のとおりである。

- ・主たる建物用途が事務所等であり、一社占有の建物である場合は 0.25、一社占有の建物ではない場合は 0.20 とする。
- ・主たる建物用途がホテル等である場合は 0.15 とする。
- ・その他の建物用途については、当該建築物の用途及び実況に応じて適宜値を定めることとする。

2) 計画輸送能力 C_{design} の定め方

計画輸送能力 C_{design} は、次の式で求める。

$$C_{design} = \frac{H_{lift,5min}}{H_{total}} \quad (6.1.2)$$

$$H_{lift,5min} = \frac{300 * H_{in} * N}{RTT} \quad (6.1.3)$$

ここで、

$H_{lift,5min}$: 5 分間エレベータ輸送人数 [人]
 H_{total} : エレベータ利用人数 [人]
 H_{in} : 乗客数 [人]
 N : エレベータの台数 [台]
 RTT : 一周時間 [秒]

3) 小規模事務所ビルを対象とした輸送能力係数 M の簡易算出法

主たる建物用途が事務所等であり、当該建築物の階数が 4 階以下または床面積の合計が 4000㎡以下の場合には、平均運転時間間隔 ΔT [秒] を 30 で除した値を輸送能力係数 M とすることができる。ただし、平均運転時間間隔 ΔT が 30 秒以上の場合は、輸送能力係数 M は

1 とする。

$$M = \frac{\Delta T}{30} \quad (6.1.4)$$

平均運転時間間隔 ΔT は次式で求める。

$$\Delta T = \frac{RTT}{N} \quad (6.1.5)$$

ここで、

RTT : 一周時間 [秒]

N : 台数 [台]